

武庫南小だより

笑顔であいさつ 根気よく学び 思いやりの心をもつ

学校通信 1月号
令和4年1月11日

尼崎市立武庫南小学校
校長 小寺山 道久

あけまして おめでとうございます

令和4年が始まりました。各ご家庭では、どのような冬休みを過ごされましたでしょうか。今年も、新型コロナウイルス感染予防対策が続きますが、武庫南小学校の子どもたちにとって、そして保護者の皆様や地域の皆様にとって、幸多い年になりますようお願い申し上げます。今年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。



『ステップアップのために』

昨年は夏季東京オリンピックでの日本人の活躍、将棋界の藤井聡太さんや野球界の大谷翔平さんの活躍など、新型コロナウイルスによる制約が続く中でも明るい話題がありました。また、宇宙飛行士でなくても宇宙に行くことができ、いよいよ「宇宙旅行の時代が始まった」という年でもありました。

ところでロケットはなぜ宇宙に向かって飛んでいくことができるのでしょうか。実はロケットは地面をすごい力で蹴って（燃料の噴射）宇宙に向かう力に変えているのです。そのような力を「作用反作用の力」といいます。速く走ろうと思えば、地面を力強く蹴る必要があるのも同じことです。

しかしながら地面がしっかりと固まっていなければ高く飛んだり速く走ったりすることができません。学習に関しても同じで、今までに学習したことが定着し土台が固まらないと、より難しい学習に取り組むことができません。

この3学期は新しい学習だけではなく、復習をしっかりとしながら新しい学年に備えてください。ノーベル物理学賞を受賞された真鍋淑郎さんは50年以上前から地球温暖化による影響を研究されていました。気象学（天気などの学問）は、日々の気象データ（基礎データ）をコツコツと長期間積み上げて、分析することが必要とされます。小学校で学習する内容は、将来大人になるための基礎データのようなものです。ぜひコツコツと積み上げその定着を土台にして、力いっぱい踏み込んで、ステップアップする力に変えてください。

それでは、3学期も今までと同様に体調管理をしっかりとして元気いっぱい学校生活を送りましょう。保護者の皆様におかれましては新型コロナウイルス感染予防に苦慮されていることとは思いますがくれぐれも健康にはお気をつけください。